

↑花いっぱいのウツボグサの群生

遊林会 第5回総会 開催

第二土曜日の保全活動の後、総会を行い、無事に活動計画書と2018年度の事業報告の承認が終了しました。作業から続けて参加していただいた会員さんも多く、長い一日となりました。参加して下さった方、委任して下さった方ありがとうございました。

湖東信用金庫 ボランティア活動

毎年行っている里山保全ボランティア活動ですが、今回は遊林会の活動日と同じ日だったので、遊林会ボランティアの方と一緒に活動していただきました。

天気は雨が降ったりやんだりでしたが60人以上の職員の方が森に入り、持ち慣れないであろうノコギリにカマ、ナタに草刈機などを使い、作業に励んでいただきました。

また、寄付もいただきました。年に2回行っている森のコンサートに使わせていただきます。本当にありがとうございました。



2回目のモリイコ！とモリイコ！Sは？



↑見て見て！



↑こんなの捕まえたよ

の普段触らないようないきものを、どうつかめばいいかを覚えました。

午後からは、実際にいきものつかみです。隊10人でいきもの25種類つかまえよう、でした。どの隊も25種類を越えてたくさんのいきものをつかみました。いきもの好きになってくれたら嬉しいです！

2回目のモリイコ！は、いきものつかみ。

午前中は森たんけんといきものつかみの練習。

森たんけんでは、小さなバッタやカマキリ。みんな大好きなカナヘビなどをつかまえました。

いきものつかみの練習ではトンボやチョウなどの羽のあるいきものつかみ方を覚えたり、カタツムリやダンゴムシなどの

2回目のモリイコ！Sは、虫の研究とたき火。

午前中の森たんけんでは、帽子でトンボを捕まえたり、葉っぱを耳にして誰がかわいいかを競ったり、楽しい森たんけんをしました。

午前中のミッションで

は図鑑を作成しました。自分で捕まえたいきものを観察し、絵を描き、名前をつけました。みんな上手に描けていましたよ。



↑図鑑作成中



↑アリジゴク捕まえた！

午後からはたき火をしました。

3回目のモリイコ！Sでは、お昼ごはんを作るのでその予習です。

たき火のやり方を結構忘れていたので、みんな苦戦していましたが、何とか火をつけられました。たき火で焼きリンゴをしました！

●6月の作業だより

第2土曜日（6月8日）23人
+湖東信用金庫さん60人

①機械刈り班

フクロウがくるように刈りました。

②常緑樹整備班

アオキを手鎌で刈りました。

③笹刈り班

萌芽更新中の場所の笹を手刈りしました。

④竹林整備班

折れた竹を切って整理しました。

⑤薪づくり班

キャンプの薪を作りました。

⑥水辺外来種退治班

カナダモをたくさんとりました。

⑦食事班

地場産の野菜を使用したおいしいごはんでした。

木ままクラブ（6月13日）

前回残していた交流広場の倒木の処理をしました。

根本はとても太く切るのも運ぶのも大変でしたが終わりました。

木ままクラブ（6月20日）

梵釈寺での活動でした。

先月の活動日で入り口付近のササ刈りが終わったので、山の奥の方のササ刈りをしました。

第4水曜日（6月26日）

モミジの林の倒木の処理をしました。ここの倒木も太く大きく、また足下にはたくさんの枝が落ちていたので、作業が大変でした。作業はまだ続きそうです。

7月の活動日

7/4 (木)	モミジの林整備 薪割り
7/13 (土)	林床整備 水辺外来種退治
7/18 (木)	梵釈寺
7/24 (水)	林床整備

朝 9:00～（遅刻可）

第2土曜日は、9:00より
1時間ほど観察会を行います

観察会

いつもは朝の9時から行ってる観察会ですが、今回は午前中は保全活動がんばり、午後からゆっくり森歩きを行いました。

今回のテーマは、ちょうどこの季節にたくさん咲いている『ホタルブクロ』。

ホタルブクロの仲間は3種あるので、どこを見たら見分けられるのかを図鑑のイラストなどを

用いて観察。他にも茎にはどちら向きに毛がはえているのか、葉っぱの形、花の中の模様など、じっくりと観察しました。チョウチンバナにポンポンバナと別名の多いホタルブクロ、女の子が「妖精のランプ」と素敵な名前をつけてくれました。

その後は午前中に作業した場所を見ながら面白いもの探し。作業場所はとってもスッキリしており、みんなでお～ッ！と作業のがんばりを称え合いました。

↓虫たちのタワーマンション



↑ウギャーな毛虫発見！

そとイコ！

6月16日（土）にそとイコ！「ホタルの観察会」を開催しました。この日は、遊林会の代表理事であり、元小学校の教師である、井田三良さんに講師をしていただきました。

クイズ形式でホタルの勉強をしたあとは、みんなで「水辺のはやし」までホタルを観察にいきました。参加者の方からは、「子どもと一緒にホタルを見たり、自然の中で過ごせてよかった」との感想をたくさんいただきました。また、ホタルブクロにホタルを入れて、優しい光を見つめる子ども達の嬉しそうな顔が印象的でした。



ボランティアメンバー募集！

遊林会は毎月ボランティアを募って、河辺いきものの森の保全活動をしています。あなたも森のスタッフと一緒に、汗を流しに来ませんか？

作業だけでなく、観察会や美味しいお昼ご飯が待っています！詳しくは遊林会事務局までお問い合わせください。

ボランティアだけでなく

新規会員さんも募集中です！



編集後記

近畿地方はなかなか梅雨に入らず、統計を取り始めて最も遅い梅雨入りになりました。なかなか雨が降っていなかったため、森の動植物たちには恵の雨になるでしょう。ご無沙汰していましたが、育休より復帰しました山北です。5月の復帰から2ヶ月経ちましたが、日々の業務に目が回ったり、失敗もありますが、たくさん笑って過ごしています。暑い夏もバテずに楽しみたいと思います！ 山北

【発行者】

特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良

〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内
電話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp